





## 大豆ステロイドに 関する研究

東京大学大学院博士  
課程一年

桐 淵 寿 子

ステロイドは動植物界に広く分布する化合物であり、中でもコレステロール、性ホルモン、副腎皮質ホルモン、ビタミンDおよび胆汁酸は生体生理に非常に関係が深いものであります。

有機化学の著しい進歩によつて、合成等の研究が次々に行われ、殊にクロマトグラフィー等の分析化學の進歩はステロイドの研究に非常に役立つております。最も代表的なステロイドであるコレステロールは、約二百年前人間の胆石から発見され、一九五二年アメリカのウッド

によって構造が明らかにされ

た。動物ステロイドに関する研究は、非常に重要なものであります。最も代表的な

ステロイドについては、植物ステロイドは代謝の老

い植物であるうと考えられておりました。しかし、その後多く

の学者の研究によりこの様な考

考は次第に改められ、植物に於て、ある種のステ

ロイドは生活に必要な物質

であると考えられるようにな

りました。しかし、その機

会の問題として、その名に恥じ

て居りますと共に、今後の

研究生活に大いに励みにな

ることと存じております。

大豆の中には主にシトス

テロール、ステイグマステ

ロール、およびカンペス

テロールと呼ばれる三種のス

テロールグリコシドは、殊

に植物界に広く見出されて

おります。後者の配糖体は、

植物ステロイドは、天然には

その全合成が達成されま

した。動物ステロイドに関

しては、医学的にも重要な

ものが多々その研究も多くな

が、多くのその研究も多くな

が、最も代表的な

ステロイドは、天然には

その全合成が達成されま

した。動物ステロイドに関

しては、医学的にも重要な

ものが多々その研究も多くな

が、最も代表的な

ステロイドは、天然には

その全合成が達成されま

した。動物ステロイドに関



